

台湾の高校と姉妹提携 オンライン交流など重ね



姉妹校提携を結んで記念撮影する台湾の高校生と加古川南高校の生徒ら＝加古川市加古川町友沢

■加古川南高
加古川南高校(加古川市)

加古川町友沢)が、日本の高校に相当する台湾の嘉義県立永慶高級中学と姉妹校提携を結んだ。今後、英語

によるオンライン交流などを通じて絆を強める。

同高級中学は2023年に夢前高校(姫路市)と姉妹校提携を締結して交流を育んでいる。さらに提携先を増やしたいという希望があり、県国際交流協会が仲介した。加古川南高校は総

合学科で語学の授業が豊富とあって、24年から同高級中学とオンライン交流を進めてきた。

提携調印式は7月15日に同高校で開かれ、台湾から来日中の同高級中学の校長や生徒らとの初顔合わせが実現した。両校の生徒は学校の様子を英語で発表し、母国語で童謡や民謡を披露

した。また、英語を使って「好きなスポーツは?」「有名な歌手は?」などと会話し、交流サイト(SNS)の連絡先を交換した。

加古川南高生徒会長の塚本翔大さん(17)は「日本に来てくれたので、次は台湾に行ってみたい。行き来ができたらと思う」と話した。

(中川 恵)